

(様式1-表)

令和8年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	35	豊田市立 東山小 学校	代表	藤谷 公寿
------	----	-------------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、i：その他（ ）】から選ぶ。

テーマ	地域のよさを実感し、地域への愛着を深める東山っ子の育成	分野	b	地域連携
	サブテーマ 地域との連携・協働による取組を通して	(その他)は分野を右欄に記入		
学校づくりの視点（ねらい）	地域との連携・協働による取組を通して、児童一人一人が地域の人々に支えられて成長していることを実感し、地域を愛する心情を高めることができる教育活動の充実を目指す。 1、クラブ活動において、専門的な知識・技能を有する地域講師を活用することで、活動内容の充実を図る。 2、教育活動に地域ボランティアを積極的に活用することで、各種活動の充実を図る。 3、豊富な経験を有する地域人材を校内整備員として配置し、校務主任、公務手と連携して環境整備を行うことで、安全で安心な環境づくりを目指す。 4、児童が地域の人々に支えられて学習や生活が成り立っていることを振り返る機会を設けることで、地域への感謝の気持ちを高めることができるようにする。 5、校内で児童とかかわる大人を増員し、児童が安心して過ごすことができる環境を整える。			
活動内容・計画	1、専門的な知識・技能を有する地域講師を活用したクラブ活動の実施 ・クラブ活動は、年間6回実施する。 ・日本の伝統芸能に関する専門的な知識・技能を有する講師による講座を設け、体験を通して礼儀や作法等を学ぶ。 ・様々な運動について専門的な知識・技能を有する講師による講座を設け、専門的な指導の下、体を動かすことの楽しさを味わう。 2、地域ボランティアを積極的に活用した教育活動の実施 ・地域学校共働本部と連携し、保護者や地域から広くボランティアを募集し、地域人材バンクを作成する。 ・活動の目的に応じて、各種ボランティアに活動を依頼していく。 ・児童の見守りや話し相手として、地域の学生にボランティアとして活動を依頼する。 3、校内整備員による環境整備の実施 ・児童が安全で安心して過ごすことができるよう、校務主任、公務手と連携して環境整備を実施する。 4、児童が地域の人々に支えられていることを振り返る機会の設定 ・道徳科や学級活動等、様々な機会をとらえて地域の人々に支えられていることを振り返る機会を設ける。 ・代表委員会が中心となって、地域ボランティアの方々に「感謝する会」を計画、実施する。 5 心の相談員と連携した児童の見守り体制の充実 ・校内で児童とかかわる大人を増員することで、児童が安心して過ごすことができる環境を整える。			
補助員配置	心の相談員 4 校内整備員 14			
実績・期待される効果	1、クラブ活動において、専門的な知識・技能を有する地域講師を活用することで、活動の質の高まりや児童の意欲向上等による活動の活性化が期待できる。また、地域の人々とかかわりの機会を定期的に確保することができる。 2、教育活動に地域ボランティアを積極的に活用することで、児童が安心して安全に活動したり、快適な環境で学習をしたりするなど、各種教育活動の充実を図ることが期待できる。また、地域の人々とかかわりの機会の増加が期待できる。 3、豊富な経験を有する地域人材を校内整備員として配置し、校務主任、公務手と連携して環境整備を行うことで、安心で安全な学校環境の実現が期待できる。 4、児童が地域の人々に支えられて学習や生活が成り立っていることを振り返る機会を設けることで、地域の人々とのつながりを再確認するとともに、地域のよさに目を向けることが期待できる。また、「感謝の会」において、感謝の気持ちを形に表すことを通して、地域への愛着を深めることが期待できる。 5 校内で児童とかかわる大人を増員することで、児童の話し相手や見守りをする環境が充実し、児童が安心して学校生活を過ごすことができる			
検証方法	・地域ボランティアとして参加された方々にアンケートを実施し、検証する。 ・学校運営協議会やPTA理事会等における意見交換や保護者アンケートで集約した意見をもとに検証する。 ・道徳科や学級活動、「感謝の会」等において児童の振り返りを集約し、その内容について検証する。			